

# 横浜市ACP普及啓発プログラム 活用の手引き

横浜市ACP普及啓発プログラムは、医療・介護関係者や行政職員が市民向けにACPを啓発する際に活用できるツールとして、医療・介護関係者や有識者の監修のもと、令和7年3月に作成しました。  
市民向けの講演会や出前講座等で、ACPや「もしも手帳」を啓発する際に、ぜひご活用ください。

## 対象・目的

本プログラムは、市民がACPの意義を理解し、前もって、自ら考え、話し合うきっかけになることを目的としています。

## 種類

講義編とワーク編の2種類あります。どちらも読み原稿つきで、簡単に使うことができます。

### <講義編>「もしも手帳で人生会議！」

内容：なぜ前もって話し合っておく必要があるのか、ACPの必要性について説明します。  
また、横浜市作成の「医療・ケアについてのもしも手帳」の使い方を紹介します。

所要時間：約20分

※ノートに説明者向けの、用語説明や参考資料を掲載しています。事前準備の参考にしてください。

### <ワーク編>「価値の引き出し」

内容：横浜市オリジナルのワークです。  
多様な価値観があることや、人の気持ちは変わるということを体感する内容です。

所要時間：約30分

事前準備：参加者を5～6名程度のグループに分けておきましょう。  
1グループに1名、進行役になる方を決めておくスムーズです。  
進行役は時間を見ながら全員に話をふる役割を担います。



## ポイント

### ○「前もって」を強調しましょう

大切だとわかっていても、「いつかそのうち」「そのときになったら」と考えがちなテーマでもあります。  
事前に話し合っておくことの大切さが伝わるように、「前もって」ということを強調しましょう。

### ○ガバツといかない

前もって考え、話すことが大切ではありますが、「考えたくない」「わからない」「決められない」という気持ちも大切です。無理をせず、本人のペースでよいことも伝えましょう。

### ○内容のアレンジについて

スライドを無断で修正・追記することは禁止します。ただし、時間に合わせてスライドの一部を省略したり、読み原稿をアレンジすることは可能です。具体的なエピソード等を加えて説明すると、より効果的です。

### ○本プログラムの取扱い

無断転載や営利目的での使用は禁止します。